



録画配信はこちら

国体の視察団と往復路同行せず、なぜ単独行動か

Q 行き帰りの時間も、貴重なミーティングの場だ
A 特にこれといった理由はない

問 今年開催された鹿児島国体に当町から役員・職員約15名が前後半に別れ、町長は前半部でアーチエリー会場に視察に行かれた
答 (町長) 視察の目的は大会の運営方法や機運醸成などアイデアを学ぶことで、視察により多くの知見を大会準備に生かす。
問 そんなことは聞いていない。
答 (町長) 議長整理を。(議長調整) 特にこれといった理由はない。私は現地集合で視察はしている。また、昼食や夕食時に団員の皆さんと意見交換はできている。
問 後半の部で視察に行かれた、副町長は鹿児島までの道中はどうされたか。
答 (副町長) 視察団の皆さんと同じ電車に乗り、行き帰り同一行動だった。やはり、町長からも単独行動でなく、「皆で

一緒に行こう」と言ってほしいし、そして職員からも「視察団と集団行動した方がいいですよ」と言える組織であってほしいと思う。町長のその様な行動では、機運醸成なんかできない。町長の態度で、職員の間にもなるだろうし、議会とも一団になれる。しかし当町で2年後に開催するアーチエリー国民スポーツ大会開催は大丈夫か。町長は人と交わるのが好きではないのか。
答 (町長) それは森野議員のスタイルで、行政の動きでも、その浄化がならないとか、そういう指摘は当たらない。私は皆さんとコミュニケーションしながらやっている。
問 地方創生総合戦略における、当町のまちづくり戦略は
答 (副町長) 特性のある独自性のある当町のまちづくりは

地方分権の進展に伴い、地方自治体では自らの判断と責任で地域の個性を生かしたまちづくりが求められている。皆様との
問 議長、話が噛み合わない。整理を(議長調整)
答 (町長) やはり持続可能性を今日の自治体は高めていきたい。それは、もしかしたら少子高齢化のことかもしれないし、経済のこととかも、インフラのことかもしれない。もちろん、財政も入る。
問 非常に大きく答弁いただいたが、総体的な答弁より細かな当町のまちづくりを、そしてまちが目指す方向性を尋ねる。
答 (町長) 具体的に尋ねていただくと、それにふさわしい答弁をする。
問 当町のまちづくりの詳細は事前説明で担当課の方に問うている。その点を問う。
答 (町長) 担当課に言われても私は承認していない。

問 議長、話が噛み合わない。整理を(議長調整)
答 (町長) やはり持続可能性を今日の自治体は高めていきたい。それは、もしかしたら少子高齢化のことかもしれないし、経済のこととかも、インフラのことかもしれない。もちろん、財政も入る。
問 非常に大きく答弁いただいたが、総体的な答弁より細かな当町のまちづくりを、そしてまちが目指す方向性を尋ねる。
答 (町長) 具体的に尋ねていただくと、それにふさわしい答弁をする。
問 当町のまちづくりの詳細は事前説明で担当課の方に問うている。その点を問う。
答 (町長) 担当課に言われても私は承認していない。
問 予算主義から決算主義を取り入れては
答 (町長) 行政は地方財務制度の考えから予算編成過程を重視しており、ご指摘の決算は予算で定めている通りに財務処理ルールに基づき実行したかです。評価・実証をするものだ。決算時の評価等は、決算の概要書でまとめています。そこで課題等を次の予算編成に生かしている。



録画配信はこちら

職員の通年輕装勤務の実施は

Q 地球温暖化対策・気候変動や多様な働き方
A 能率向上する職場環境の実現は大切な課題

問 地球温暖化対策・気候変動や多様な働き方への対応
答 (くらし安全環境課長) 事務および事業における温室効果ガスの排出量を削減し、吸収作用を保全・強化することを目的に、二酸化炭素排出量を令和12年度に平成25年度実績値から40%削減することを目指し、特に電力と燃料の使用料削減について取り組みを進める。
問 環境省の取り組みに基づいて、働きやすい服装で勤務することで、ストレスの軽減や業務の効率化、新たな発想の創出につながる町民サービスの向上を図ることの推進になるものと考え、町としてウォームビズの今後の取り組みについて問う。
答 (町長) ウォームビズは、冬期における地球温暖化対策の一環として

して環境省が提唱しているキャンペーンである。暖房時の室温を20度以下でも快適に温かく過ごすライフスタイルを推奨したものである。今後は、前向きに働き方改革の観点からも、職員の通年輕装勤務を、職員の主体的な導入促進への取り組みを応援していきたいと考えている。
問 防犯カメラは、犯罪者や不審者の発見、いたずらの抑止力の効果を持ち、事故、事件が起きた際に詳細な映像を取得することができ、住民の安心感、トラブルや犯罪被害を防ぐ重要なものと考え、防犯カメラ設置の取り組み状況を問う。
答 (くらし安全環境課長) 令和5年度は児童、高齢者の見守りと夜間の犯罪抑止を目的に、無線通信式防犯カメラを東近江警察署から助言を受けた危険箇所の中から、県道や町道上に5箇所設置し、防犯面の取り組みを強化した。

問 駅前開発は喫緊の課題である。町の計画を問う。
答 (企画政策監) 負担金は多額の税金を原資とすることから、町民の皆様への理解を深めていくことが重要である。地域公共交通を身近に感じていただくよう、本基本方針を町広報紙等により周知啓発し、併せて上下分離方式に対し理解を求め、法定協議会でも議論する。
問 2024年度からの近江鉄道上下分離方式
答 (企画政策監) 住民の関心の低さは明確である。普段から利用する人の割合が低い。理解を深めることが必要である。今後の取り組みを問う。



愛知川駅コミュニティハウス

問 地域の課題を解決するためには、地域の実情に応じて、きめ細かな対応は欠かせない。地域のことは自分たちが主体的に決定するまちづくりの方針と基本的なルールを定める条例であり、住民主体、住民参加の機会を拡充・保障することが目的である。進捗状況を問う。
答 (企画政策監) 自主および自立の理念に基づき、世代を超えて住み続けられる魅力あるまちづくりを推進するための基本的な事項を定めるとともに、町民、事業者等および町の役割、権利並びに責務等を明確にすることにより、地域社会の活力を高め、町における自治の確立および町民の福祉向上を図ることを目的としている。
問 答弁になっていないが何とか、かみ合わせと質問を続ける。当町で持続可能性をどのように進めるのか。
答 (町長) ひとつ言うならば、自治会ミーティングに行っている。首長がそれぞれの字に行く。そこでいただく声を織り込んでいく。
問 地域の課題を解決するためには、地域の実情に応じて、きめ細かな対応は欠かせない。地域のことは自分たちが主体的に決定するまちづくりの方針と基本的なルールを定める条例であり、住民主体、住民参加の機会を拡充・保障することが目的である。進捗状況を問う。
答 (企画政策監) 自主および自立の理念に基づき、世代を超えて住み続けられる魅力あるまちづくりを推進するための基本的な事項を定めるとともに、町民、事業者等および町の役割、権利並びに責務等を明確にすることにより、地域社会の活力を高め、町における自治の確立および町民の福祉向上を図ることを目的としている。